

■平成 29 年度予算

一般会計予算

総額 78 億円

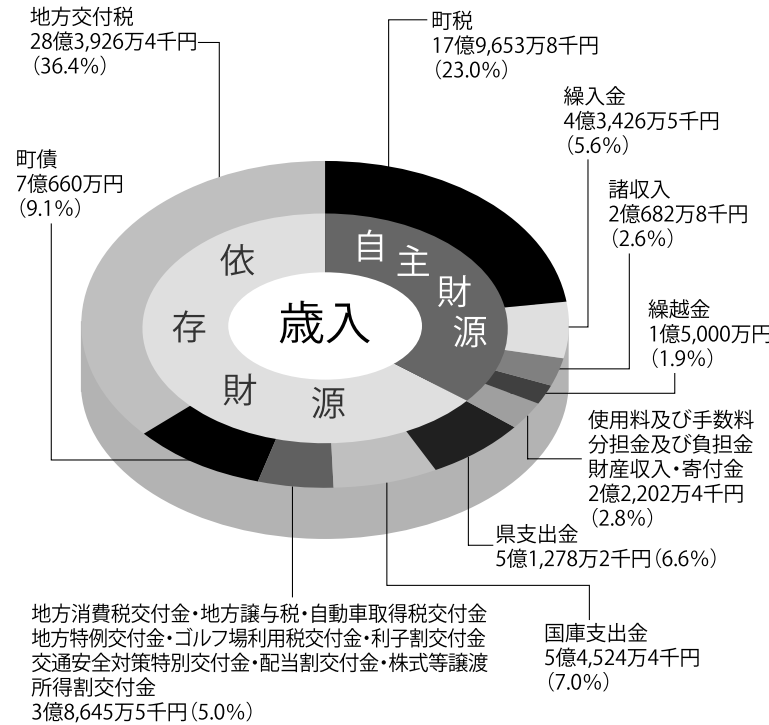
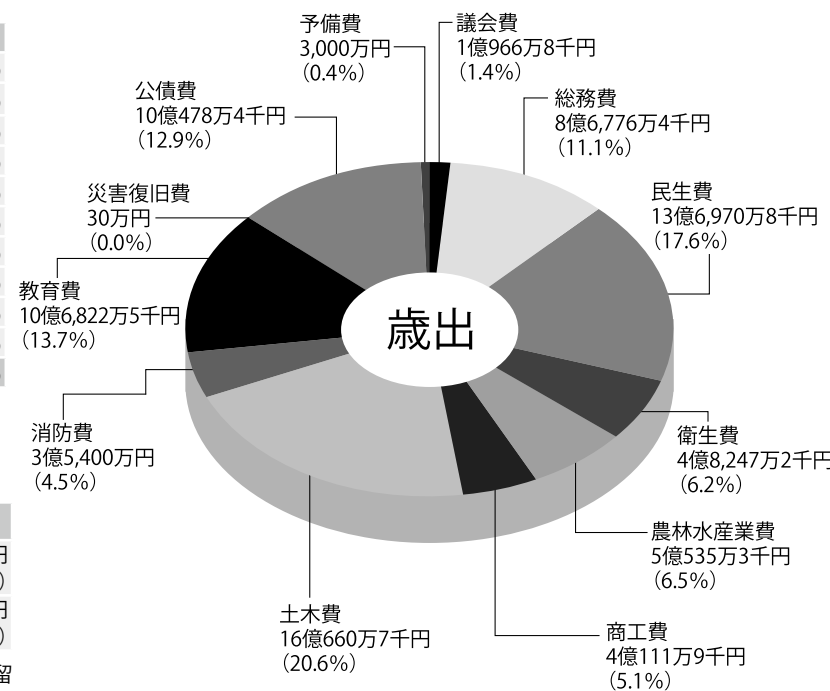
特別会計予算

会 計 名	予 算 額	対前年度比
猪 苗 代 地 区 財 産 区	926 万 1 千円	8.2%
翁 島 地 区 財 産 区	221 万 5 千円	△ 0.3%
長 瀬 地 区 財 産 区	1,204 万 4 千円	0.3%
吾 妻 地 区 財 産 区	831 万 3 千円	△ 1.7%
国 民 健 康 保 険	19 億 2,710 万円	△ 0.7%
後 期 高 齢 者 医 療	1 億 6,619 万 7 千円	0.6%
介 護 保 険	16 億 8,869 万 8 千円	8.6%
下 水 道 事 業	5 億 760 万 4 千円	△ 12.1%
特定環境保全下水道事業	1 億 6,316 万 4 千円	34.0%
農 業 集 落 排 水 事 業	1 億 6,312 万 3 千円	6.4%
合 計	46 億 4,771 万 9 千円	2.3%

水道事業会計予算

区 分	予 算 額	区 分	予 算 額
収 入	3 億 7,669 万 8 千円 (対前年度比△ 1.3%)	資 本 的 収 入	4,845 万 4 千円 (対前年度比△ 36.5%)
益 的 支 出	3 億 4,663 万 2 千円 (対前年度比 1.2%)	資 本 的 支 出	1 億 9,473 万 7 千円 (対前年度比 5.0%)

※資本的収支の不足額 1 億 4,628 万 3 千円は、当年度損益勘定留保資金から補てんします。



町税の内訳

区 分	予 算 額	町民 1 人あたり
町 民 税	5 億 7,830 万円	38,930 円
固 定 資 産 税	10 億 1,481 万 4 千円	68,314 円
軽 自 動 車 税	4,471 万 5 千円	3,010 円
町 た ば こ 税	1 億 2,095 万 1 千円	8,142 円
入 湯 税	3,774 万 8 千円	2,541 円

町民 1 人あたりの町税負担額合計	120,937 円
-------------------	-----------

町民 1 人あたりの予算（一般会計）	525,075 円
--------------------	-----------

※町民 1 人あたりの税額および予算額は、平成 29 年 2 月末現在の人口をもとに算出しています。

病院事業会計予算

区 分	予 算 額	区 分	予 算 額
収 入	7,379 万 9 千円 (対前年度比△ 9.1%)	資 本 的 収 入	5,766 万 7 千円 (対前年度比 4.0%)
益 的 支 出	7,379 万 7 千円 (対前年度比△ 9.2%)	資 本 的 支 出	5,784 万 3 千円 (対前年度比 4.3%)

※資本的収支の不足額 17 万 6 千円は、基金から補てんします。

一般会計

歳入

歳入は大きく「自主財源」と「依存財源」の二つに分けられます。

「自主財源」とは、町が自主的に確保することができる財源のことです。町の主要な財源の一つである町税をはじめとして、使用料、手数料、分担金、負担金や財産収入などが挙げられます。

一般会計の自主財源の合計は 28 億 9 653 万 5 千円で、歳入全体の 36・0%となりました。自主財源のうち、主要な財源の一つである町税は、17 億 9 653 万 8 千円（前年度比 4 4 2 3 万 6 千円の減）で、歳入全体の 23・0%を占めています（内訳は上の表のとおり）。このほか、財政調

一般会計

歳出

歳出では、一つ一つの事務事業について効果や成果を検証し、経費の節減・事務の合理化を進める一方、緊急性などの優先順位をつけて重点施策を選別して編成しました。

歳出全体の 20・6%を占める土木費は、町道や町営住宅の整備・管理、除雪などに使われる費用で、この中には道の駅整備事業なども含まれており、16 億 6 60 万 7 千円（前年度比 2 億 5 93 万 1 千円の減）となっています。

これに続くのが、社会福祉や児童福祉などに使われる民生費です。全体の 17・6%で、13 億 6 970 万 8 千円（前年度比 1 3 10 万 6 千円の増）です。その次に続くのが、こども園、小・中学校、生涯学習やスポーツ振興などに使われる教育費で全体の 13・7%、10 億 6 822 万 5 千円（前年度比 5 630 万 7 千円の増）。

以下、借入金償還のための公債費が全体の 12・9%、

平成 29 年度一般会計当初予算の総額は、78 億円です。前年度に比べ 4 億 3 600 万円（5・3%）の減少となりました。予算編成にあたり、限られた財源を効率的に配分し、第七次猪苗代町振興計画の実現に向けたさまざまな施策に重点をおいた予算としました。

平成 29 年度予算のあらましについてお知らせします。

「依存財源」とは、国や県から交付される財源のことです。地方交付税、国庫支出金、県支出金、町債などが挙げられます。

依存財源の合計は、49 億 9 034 万 5 千円で、歳入全体の 64・0%となりました。歳入の 36・4%を占める地方交付税が 28 億 3 926 万 4 千円（前年度比 2 997 万 9 千円の減）。次いで 9・1%を占めるのが町債で、道の駅整備事業などを見込み 7 億 6 60 万円（3 億 2 210 万円の減）となりました。

町債の借り入れにあたっては、交付税措置のある有利なものを選ぶなど、負担の軽減に努めました。

10 億 4 78 万 4 千円（前年度比 9 407 万 7 千円の減）。

その他、総務費は、8 億 6 776 万 4 千円（前年度比 5 424 万 3 千円の減）。農林水産業費は、5 億 535 万 3 千円（前年度比 8 283 万円の減）。衛生費は、4 億 824 万 2 千円（前年度比 1 875 万 6 千円の減）。商工費は、4 億 111 万 9 千円（前年度比 1 953 万 7 千円の減）。消防費は、3 億 5 400 万円（前年度比 1 億 6 469 万 6 千円の減）。議会費は、1 億 9 66 万 8 千円（前年度比 47 万 3 千円の減）となりました。

平成 29 年度の主な事業

本年度中に実施する主な事業を紹介します。

- ▽道の駅整備事業（ヘリポート） 1 億 237 万 0 千円
- ▽駅前広場再整備事業 2 億 100 万 0 千円
- ▽統合中学校整備事業（プロポータル） 1 30 万円
- ▽全国高等学校総合体育大会（空手道競技負担金） 750 万円
- ▽陸上競技場公認更新改修事業 1 355 万円